

6. 「る・た・ている」 (テンス・アスペクト)

6-0. 「る」「た」「ている」形の基本

6-1. 「る」形の基本の使い方

6-2. 「た」形の基本の使い方

6-3. 「ている」形の基本の使い方

6-4. 特別な場合

1. 思考を表す場合
2. 以前と現在とで変化が起きた場合
3. 情報源を表す場合
4. 実際には起こらなかったことを表す場合

6-5. 場面に応じた使用例

1. 状況説明
2. 人物説明 + 練習問題
3. 仕組みの説明 + 練習問題
4. あらすじ + 練習問題

+ 練習問題

6-0. 「る」「た」「ている」形の基本

形	基本の使い方
「る」形	今の状態、未来のこと、未完了の行為、現在の習慣
「た」形	(現在と異なる) 過去の状態・行為、完了した行為
「ている」形	現在の状態、行為が続いていること

6-1. 「る」形の基本の使い方

	使うとき	使われる言葉
1	今の状態を表す	形容詞、名詞、一部の動詞
2	未来を表す	一部の動詞
3	くり返し起こること、恒常的な習慣を表す	動詞
4	一般的な事実を表す	形容詞、名詞、動詞

1. 今の状態を表す

正用例

これは有名な画家の作品である。

この大学には留学生が多い。

この絵の人物は髪が長く、目が大きい。

この絵には、画家の特徴が多くみられる。

ここには多くの学生がいる。

現在の状態を「る」形で表す動詞には、「ある・いる」（存在）「見える・聞こえる」（知覚）「可能形」（可能）などがある。

1. 今の状態を表す

正用例

中央公園に大きな美術館がある。

誤用例

中央公園に大きな美術館があった。

誤用例では、「過去にはあったが、現在はもうない」という意味になるので、現在も美術館が存在する場合は「ある」になる。

2. 未来を表す

正用例

1. 来週、大学で特別公演が開かれる。
2. 将来、さらに高齢者人口が増える。
3. 将来、さらに高齢者人口が増えるだろう。

「る」形だけで未来を表すことができるが、はっきりした行動予定ではない場合、「だろう」「かもしれない」などをつけることもある。

3. 繰り返し起こること、恒常的な習慣

正用例

1. つくば市では毎年夏の終わりに「まつりつくば」という祭りが行われる。
2. 私は毎日5時に起き、まず5キロほどジョギングをする。

「毎年」や「毎日」「一週間に一度」など、どのくらい繰り返すかという言葉と一緒に使うことがある。

4. 一般的な事実を表す

正用例

1. 友人とは困っているときに助けてくれるものだ。
2. 水銀 (Hg) は -38.83°C で液体になる。
3. 関東地方は冬、晴れの日が多い。

一般的な事実や概念、定義を話す場合は「る」形で表す。

6-2. 「た」形の基本の使い方

	使うとき	よく一緒に使う言葉
1	今より前のことを表す (過去)	・ 過去を表す言葉 「昨日、先週、子供の時」など
2	すでに終わったことを表す (完了)	・ 完了した時間を表す言葉 「昨日、去年、さっき」など ・ 「もう」

1. 今より前のことを表す(過去)

正用例

私は去年、日本に来た。

誤用例

私は去年、日本に来る。

「去年」という過去のことを述べているので、「来る」ではなく、「来た」を使う。

1. 今より前のことを表す(過去)

正用例

川端康成は1899年に生まれ1972年に亡くなった。

誤用例

川端康成は1899年に生まれ1972年に亡くなる。

「1972年」は今より前のことなので、「亡くなった」と過去形にする。
「亡くなっている」という形も使える。

2. すでに終わったことを表す(完了)

正用例

1. 外国人のための日本語セルフスタディー用アプリが開発された。
2. 工事はもう終わった。

完了の場合は「もう」「すでに」「ちょうど」などといっしょに使うことがある。

2. すでに終わったことを表す(完了)

正用例

工事はもう終わった。

誤用例

工事はもう終わる。

「もう+る」形は、「今からもう少し後で終わる」という意味になる。誤用例は文法的には正しいが、正用例と意味が異なっている。正用例では工事は終了している。一方誤用例では、工事はまだ終わっていない。

6-3. 「ている」形の基本の使い方

	使うとき	使われる言葉
1	今起こっていることを表す (進行)	一部の動詞 (継続動詞)
2	あることが起こって、その結果が残っていることを表す (結果残存)	一部の動詞 (瞬間動詞)
3	現在の状態を表す	一部の動詞 (瞬間動詞)
4	繰り返し起こること、一時的な習慣を表す	動詞
5	過去のある時間に起こったことを表す	「V-ていた」
6	ある行為がまだ終わっていないことを表す (未完了)	「(まだ) Vていない」

1. 今起こっていることを表す(進行)

正用例

1. 今この国では大規模な経済改革が進められている。
2. その結果、国民の生活が大きく変化してきている。
3. また工業化が進み、二酸化炭素の排出量も増えている。

行為や動作、物事の動きを表す動詞の「ている」形は、今現在その動作・行為・動きが起こっている状態を表す。

1. 今起こっていることを表す(進行)

誤用例

今この国では大規模な経済改革が進む。

「進む」を使うと、未来のことになる。文の最初に「今」という言葉を使っているので、「進んでいる」を使ったほうがいい。

1. 今起こっていることを表す（進行）

誤用例

政府の改革の結果、**現在**国民の生活は大きく変化してきた。

国民の生活の変化が続いている、変化の途中である、と思う場合は「**変化している／変化してきている**」を使う。変化がほぼ終了した場合は、「**変化した**」になる。

2. あることが起こって、その結果が残っていることを表す(結果残存)

正用例

1. 私は去年から日本に来ている。
2. この家の玄関は閉められているが、居間の窓は開いている。
3. 私の兄は大学で知り合った外国人の女性と結婚している。

変化を表す動詞や移動を表す動詞の「-ている」形は、その変化が起こった後の状態や移動が終了した後の状態を表す。

2. あることが起こって、その結果が残っていることを表す(結果残存)

誤用例

彼は友人の家に行っている時、コンビニに泥棒が入るのを見た。

「友人の家に行っている」は、彼が友人の家にいる状態を表す。その状態ではコンビニに泥棒が入るのは見られないので、「家に行く時」や「行く途中で」などの形にする。

2. あることが起こって、その結果が残っていることを表す(結果残存)

誤用例

彼は去年結婚している。

結婚した時間を言いたい場合は、「**去年結婚した**」を使う。「結婚している」状態を話す場合は、現在の状態に注目するので「去年」を使わず、「**彼は結婚している**」という。

3. 現在の状態を表す

正用例

1. 現在、多くの外国人研究者がつくば市に住んでいる。
2. 彼は10年以上日本語学を研究し、今では日本人以上に日本語の知識を持っている。
3. 多くの人がこの事実を知っている。

「住む」「知る」などの動詞は、現在の状態を「-ている」で表す。

4. くり返し起こること、一時的な習慣を表す

正用例

1. つくばでは毎年「まつりつくば」という祭りが行われている。
2. 私は最近毎日5時に起きている。

「る」形と同じ使い方で、繰り返し起こることを表す。
「ている」を使うと、この繰り返しや習慣が一時的なもので、過去のそれと違っていたり、将来、変化したりする可能性を暗に示すことになる。

5. 過去のある時間に起こったことを表す 「ていた」の形を使う

正用例

1. 私が家を出るときには雨が降っていた。
2. しかし、電車に乗って駅に着いた時には雨はやんでいた。

ふつう、過去のことは「た」形で表す。しかし、ある特定の時間に何をしていたか、何が起こっていたかを表す場合は「ていた」の形を使う。

6. まだ終わっていないことを表す

正用例

1. 来年開通予定の線路の建設が進んでいない。
2. 修士論文のデータをまだ集め終わっていない。

ある行為が終わっていない場合は「～ていない」の形を使う。この時「まだ」と一緒に使うことがある。

6-4. 特別な場合

ある場合には特に決まった形を使うことがある。

ここでは、その中から作文やレポートで使いやすい5つのものを紹介する。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| ① | 思考を表す場合
「-と思う／考える」と「-思っている／考えている」 |
| ② | 以前と現在とで変化が起きた場合 |
| ③ | 情報源を表す場合（2.引用を参照） |
| ④ | 実際には起こらなかったことを表す場合 |

1. 思考を表す場合

「思う／考える」の「る」形と「ている」形では、思考している主語によって、どちらを使うかが変わる

思考者	形
私	～と思う／思っている ～と考える／考えている
第三者	～と思っている+（ようだ、そうだ、らしい、という） ～と考えている+（ようだ、そうだ、らしい、という）

自分の思考を話す場合は「る」形、「-ている」形、どちらも使える。
他者の思考を話す場合は「ている」形にして、さらに「ようだ、そうだ、らしい、という、のようにみえる」などの言葉を付け加える。

1. 思考を表す場合

正用例

1. 私はこの問題を早く解決しなければならないと思う。
2. 私はこの問題を早く解決しなければならないと思っている。
3. 彼はこの問題を早く解決しなければならないと思っているようだ。

誤用例

彼はこの問題を早く解決しなければならないと思っている。

小説などを別にして、他者の思考を表す場合には、「ようだ、そうだ」などの伝聞の形を使う。この場合は、「思っているようだ」などの形にする。

2. 以前と現在とで変化が起きた場合

正用例

私の夢 = to go to Japan 日本にいる？まだ？

(今日本にいる) : 日本に来るのが夢だった。

(まだ日本に行かない) : 日本に行くのが夢だ。

以前と状態が変わった場合、

以前のを「た」形で、現在のを「る」形で表す。

「日本に行く」という同じ夢でも、すでに日本に来ている場合、夢が実現しているので、「だった」という形になる。

2. 以前と現在とで変化が起きた場合

正用例

大学の説明

(A大学の説明 説明者が既にA大学から別の大学へ移籍している場合)

A大学は大きい大学だった。

(A大学の説明 どの大学の所属かは関係ない場合)

A大学は大きい大学だ。

大学自体は変化していないが、話し手の所属によって、「る」形を使うか、「た」形を使うかが変わる。

3. 情報源を表す場合

正用例

(引用) 田中は次のように述べている。

(行動の描写) 田中は次のように述べた。

引用の情報源を表す場合「-ている」形を使う。「た」形を使った場合は、引用ではなく、行動の描写になる。詳細は「2. 引用」を参照すること。

4. 実際には起こらなかったことを表す場合

正用例

(事実) 政府はこの政策を実行しなかった。

(意見) 政府はこの政策を実行するべきだった。

過去の事実は「た」形で表す。反省したり、意見を述べたりするときに、過去の事実とは異なることを表す場合は、「る」形+「べきだった」「た」形+「ほうがよかった」などのように、文末を「た」形にする。

練習問題1 いいと思うものを選びなさい。解答は一つ以上あることもあります。★

1. 私は2017年に日本に {a. 来る b. 来た c. 来ている d. 来ていた} 。
2. 日本に来たばかりの時は東京に {a. 住む b. 住んだ c. 住んでいる d. 住んでいた} 。
3. 私の国の町では毎年7月に夏の祭りが {a. 行われる b. 行われた c. 行われている d. 行われていた} 。
4. 先月初めて北海道へ旅行 {a. する b. した c. している d. していた} 。
5. 2016年から北海道新幹線ほっかいどうしんかんせんが東京から函館はこだてまで {a. 走る b. 走った c. 走っている d. 走っていた} 。

ほっかいどうしんかんせん こうじ

6. 2005年に北海道新幹線の工事が {a.始まる b.始まった
c.始まっている d.始まっていた}。
7. この計画は2018年に実行 {a.される b.された
c.されている d.されていた}。
8. この計画は現在まだ実行 {a.されない b.されなかった
c.されていない d.されていなかった}。
9. 私は10年後には日本に住みたいと {a.思う b.思った c.思っている
d.思っていた}。
10. 二人が初めて会った時、二人とも5年後に結婚するとは
{a.考えない b.考えなかった c.考えていない d.考えていなかった}
ようだ。

練習問題1 解答



1. 私は2017年に日本に {a. 来る **b.** 来た c. 来ている d. 来ていた} 。

解説：

b. 2017年＝過去のことだから「た」形を使う。

「2017年から」なら結果残存の意味になり、cの形を使う。

2. 日本に来たばかりの時は東京に {a. 住む b. 住んだ c. 住んでいる **d.** 住んでいた} 。

解説：

d. 「住んでいる」が基本。「日本に来たばかりの時は」と「は」が使われているので、現在は違うことがわかる。現在と違う過去のことなので、「ていた」の形を使う。

3. 私の国の町では毎年7月に夏の祭りが {a. 行われる b. 行われた
c. 行われている d. 行われていた} 。

解説：

- a. 現在の国の状態を表している。
- c. 現在の国の状態を表している。a.より「一時的な」「これから変化するかもしれない」という気持ちが含まれる。
- d. 今は外国にいて、「自分が国にいたころは」という意味で使う。

4. 先月初めて北海道へ旅行 {a. する b. した c. している d. していた} 。

解説：

- d. 過去の行動を表している。

5. 2016 年から北海道新幹線が東京から函館まで {a.走る b.走った
c.走っている d.走っていた}。

解説：

c. 「2016年から」 続いている現在の状態を表している。

6. 2005 年に北海道新幹線の工事が {a.始まる b.始まった
c.始まっている d.始まっていた}。

解説：

a. 年表などで使う。

b. ふつうの作文・レポートなどで使う。

c. ある特別な時について、「この時はどんなことが起きていたか」という説明をするときに使う。

7. この計画は2018年に実行 {a. される (b.) された
c. されている d. されていた}。

解説：

- b. 計画の実行が完了したことを表している。
- c. 歴史的な事実として述べる場合に使う形である。

8. この計画は現在まだ実行 {a. されない b. されなかった
c. されていない d. されていなかった}。

解説：

- c. 「現在まだ」という言葉があるので、計画の「実行」が終わっていないことを表す。
- △ a. 特殊な例。これからも実行されるかどうかわからないという気持ちが含まれる。
この場合、「現在」や「まだ」は使わないことが多い。

9. 私は10年後には日本に住みたいと {a. 思う b. 思った c. 思っている d. 思っていた} 。

解説：

- a. 現在の気持ちを表している。
- c. 現在の気持ちを表している。Aと違うのは、これから変わるかもしれない可能性を持たせた表現である点。

10. 二人が初めて会った時、二人とも5年後に結婚するとは {a. 考えない b. 考えなかった c. 考えていない d. 考えていなかった} ようだ。

解説：

- d. 他者の考えであり、過去のことなのでこの形になる。

6-5. 場面に応じた使用例

1. 状況や状態の説明
2. 人物説明
3. 仕組みの説明
4. やり方や変化の流れを説明（実験・調査の方法）
5. あらすじ

1. 状況や状態を説明する

いつの話をするかによって変わる。

a 現在の状況を説明する

⇒ 基本的に「る」形、動詞は「る」形より「ている」形

b 過去から現在まで続いていることを説明する

⇒ 「-ている」形を使うことが多い

c 過去のことを説明する ⇒ 「た」形

d 前と今とで何かが変わったことを説明する

⇒ 前のことは「た」形

1a. 現在の状況を説明する

正用例

a. 「る」形を使う

1. 私は筑波大学の学生である。
2. 専門は日本語教育だ。
3. 毎日忙しいが、とても楽しい。

b. 「-ている」形を使う

筑波大学の日本語・日本文化研究科で日本語の文法や日本語の歴史について勉強している。

1a. 現在の状況を説明する(否定形)

正用例

1. 私はまだ日本に行ったことがない。
2. 日本に行けるのがいつになるかはわからない。
3. 漢字もまだ100も覚えていない。

1b. 過去から現在まで続いていることを説明する

正用例

a. 「-ている」の形

最近日本に旅行に来る外国人が増えている。

b. 「V-ます+続けている」の形

この問題については数年間議論をし続けている。

1c. 過去のことを説明する

正用例

1. 2017年8月の平均気温は26.4度だった。
2. これは最近10年の中では最低だった。
3. 川端康成（かわばたやすなり）は1899年に生まれた。
4. 去年の夏に日本に来た。

1d. 前と今で何かが変わったことを説明する

正用例

1. この町はむかしはとても静かだった。しかし、今はとてもにぎやかだ。
2. 日本語が全然話せなかったが、今は話せる。

2. 人物を説明する

いつの話かに気を付けて、「る」形と「た」形、「ーている」形を組み合わせる。基本的に現在より過去の行動などには「た」形、その人物の現在の評価は「る」形を使う。

正用例

川端康成は1899年に生まれ1972年に亡くなった、日本を代表する小説家の一人である。

1968年、日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した。

彼の有名な作品には「伊豆の踊子」「雪国」「眠れる美女」などがある。

2. 人物を説明する

ポスターなどで「(人物名)」をタイトルとして、その説明を下に続ける場合は、過去の行動も「る」形で表すことができる。

正用例

川端康成

1899年、大阪府に生まれる。1972年に亡くなる。日本を代表する小説家の一人である。

1968年、日本人として初めてノーベル文学賞を受賞する。

練習問題2-1 人物の説明

()の中の言葉を正しい形に直しなさい。

形は{る、た、ている、ていた}あるいはその否定形のどれかになります。

村上春樹は日本の代表的な小説家として（知られる）_____。

彼は1949年京都に（生まれる）_____。

1979年『風の歌を聴（き）け』で小説家として（デビューする）_____。

1987年発表の『ノルウェイの森』はベストセラーの作品に（なる）_____。

現在小説だけでなく、翻訳（ほんやく）も多く（行う）_____。

練習問題2-1 解答例

村上春樹は日本の代表的な小説家として（知られる）知られている。

彼は1949年京都に（生まれる）生まれた。

1979年『風の歌を聴（き）け』で小説家として（デビューする）デビューした。

1987年発表の『ノルウェイの森』はベストセラーの作品に（なる）なった。

現在、小説だけでなく、翻訳（ほんやく）も多く（行う）行っている。

3. 仕組みを説明する

基本的に「る」形を使う。

正用例

1. 「列車」と「電車」は動力が違う。
2. 「電車」は車を動かす動力として電気を使う。
3. 「列車」の動力は電力ではない。
4. 代表的な動力はディーゼルや蒸気である。

3. 仕組みを説明する

正用例

- 1a 「列車」と「電車」は動力が違う。
- 2a 「電車」は車を動かす動力として電気を使う。

誤用例

- 1b 「列車」と「電車」は動力が違った。
- 2b 「電車」は車を動かす動力として電気を使った。

誤用例では、過去の「列車」や「電車」の仕組みを説明していることになる。
あるいは、ある特定のものの説明であり、一般的な説明になっていない。

練習問題2-2 仕組み・やり方の説明

()の中の言葉を正しい形にしろ。形は{る、た、ている、ていた}あるいはその否定形のどれかになります。

歌舞伎(かぶき)は日本の伝統芸能(でんとうげいのう)だ。しかし、古い日本語や独特(どくとく)の言い方をするので、外国人はもちろん、日本人にもわかりにくいことがある。そこで、イヤホンガイドを使うと、わかりやすい。

イヤホンガイドの借(か)り方は簡単だ。

まず、歌舞伎座(かぶきざ)のイヤホンガイド貸し出し所で貸し出しを(もうしこむ)_____。

その時に保証金(ほしょうきん: deposit)を(はらう)_____。

歌舞伎座では、700円(である)_____。

歌舞伎を見終わったら、イヤホンガイドを(返す)_____。

そうすると、お金が(戻[もと]ってくる)_____。

練習2-2 仕組み・やり方の説明 解答例

歌舞伎（かぶき）は日本の伝統芸能（でんとうげいのう）だ。しかし、古い日本語や独特（どくとく）の言い方をするので、外国人はもちろん、日本人にもわかりにくいことがある。そこで、イヤホンガイドを使うと、わかりやすい。イヤホンガイドの借（か）り方は簡単だ。

まず、歌舞伎座（かぶきざ）のイヤホンガイド貸し出し所で貸し出しを（もうしこむ） もうしこむ。

その時に保証金（ほしょうきん：deposit）を（はらう） はらう。

歌舞伎座では、700円（である） である。

歌舞伎を見終わったら、イヤホンガイドを（返す） 返す。

そうすると、お金が（戻[もと]ってくる） 戻ってくる。

4. やり方や変化の流れを説明する

「る」形、「た」形、どちらも使える。
基本的には次のように使い分ける。

- 一般的なやり方や方法を説明する場合 ⇒ 「る」形
- 自分が計画しているもののやり方や方法 ⇒ 「る」形
- 自分が実際にやったもののやり方や方法 ⇒ 「た」形
- ほかに人のやったことのやり方や方法の引用 ⇒
「た」形／「ている」形

4a. 実験の準備の説明

正用例

この実験はA大学の1年生、2年生を対象に行う。

まず、インタビュー調査を行い、個々の学生の漢字習得状況について聞き取り調査をする。

次に、カメラ装置を備えた実験室で、漢字を書きとる用紙を渡し、聞き取った言葉の漢字を用紙に記入してもらう。

4b. 実験の結果の報告

正用例

この実験は2017年4月から6月にかけてA大学の学部1年生、2年生を対象に行った。

まず、インタビュー調査を行い、個々の学生の漢字習得状況について聞き取り調査をした。

次に、カメラ装置を備えた実験室で、漢字を書きとる用紙を渡し、聞き取った言葉の漢字を用紙に記入してもらった。

5. あらすじを説明する

「る」形、「た」形、「ている」形を使う。
物語の背景は「た」形や「ている」形（「ていた」の形を含む）、物語の中で起こることは「る」形を使うことが多い。

正用例

法律事務所を経営しているリチャード・エルトンは郊外の見晴らしの良い高台に堂々たる邸宅を構えていた。ある晩、そのチャールフォント荘でのダンス・パーティ開催の直前、彼が後頭部を割られて死んでいるのが庭園で発見される。（後略）

F.W.クロフツ『チャールフォント荘の恐怖』創元推理文庫 紹介文より

練習問題3

- 提示された内容について短い文を書きなさい。
- 必要なら、薄い字で書いてあるフレームワークを参照すること。
同じように、必要なら()内の言葉も形を変えて使いなさい。

練習問題3-1 自分のことを書く

(日本語を始めたきっかけ)

(今勉強しているところ、専門)

_____のころ、_____をきっかけに、日本語を勉強_____。

今は、_____で_____を研究しながら、日本語を勉強_____。

将来、_____たいと(思う)_____。

練習問題3-1 自分のことを書く

解答例

子どものころ、テレビで日本のアニメを見たの
をきっかけに、日本語を勉強し始めた。

今は大学で経済を研究しながら、日本語を勉強
している。

将来日本に進出している自国の企業で働きたい
と思っている。

練習問題3-2 行事の説明

(あなたの国の有名な行事について)

(いつそれをするのか)

(行事ではどんなことをするのか)

(あなたはそれに行ったことがあるか)

私の国では_____に_____という_____が_____。

_____では、人々が_____。

とても_____ (形容詞)_____。

私は_____ (いつ)_____, {よく、一回、時々} その_____に_____。

練習問題3-2 行事の説明

解答例

私の国では毎年4月8日に灌仏会（かんぶつえ）という仏教の祭りが開かれる。別の言葉では花祭りともいう。灌仏会はお釈迦様（しゃかさま）の誕生日のことだ。人々はお釈迦様の像（ぞう）にあまいお酒をかけて、誕生日をお祝いする。お寺ではお祭りに来た人にこのお酒をごちそうしてくれる。

私はまだ一回しかその祭りに行ったことがない。また行きたいと思う。

練習問題3-3 人物の説明

(あなたの国で有名な人物について)

(どこの出身か)

(何をした/している人か)

(あなたの国でその人はどう思われているか)

_____は私の国の有名な_____。
_____年に_____で(生まれる)_____。_____年に_____した。
その後、_____。_____年に(有名になった活動)_____。
_____は_____として私の国の人々に_____。

練習問題3-3 人物の説明

解答例

小澤征爾（おざわせいじ） は日本の有名な指揮者である。
1935年中国の瀋陽市で生まれた。小学校のころから音楽の
才能を見せ、ピアノを習った。指に大きなけがをしてピア
ニストをあきらめ、指揮者の道に進んだ。

その後アメリカに渡り、様々な楽団で指揮をした後、1973
年にボストン交響楽団の指揮者になった。

現在でも茨城県の交響楽団の指揮をするなどの活動をして
いる。

練習問題3-3 やり方・仕組みの説明

(あなたの好きなアプリについて)

(使い方)

(便利な点)

_____というアプリは、_____ための_____。

使い方は、まず、_____。その後、_____。

_____と、(～ことができる)_____。

このアプリは、_____という点が(便利だ)_____。

練習問題3-3 やり方・仕組みの説明

解答例

スマートステラというアプリはAndroidタイプのスマートフォン
のための星空を検索することのできるアプリである。

使い方は、アプリを起動させたら、星を見たい方角にスマ
ホを向ける。そうすると、画面に星座が出てきて、その名
前や星を確認することができる。

その他にその時期に見られる惑星や流星群などの情報も得
られる。また星座に関する神話も調べられる。

星が好きな人はぜひ使ってほしい。

用語の説明

未完了 (3) : まだ終わっていないこと

行為 (3, 15, 16, 25) : 人がすること、動作など

恒常的 (4,8) : いつもそうなること

継続動詞 (15) : ある時間内に続いて行われる動作。「-ている」の形で「動作が進行中である」ことを表す。

(金田一春彦の分類による)

瞬間動詞 (15) : 瞬間的に終わってしまう動作、作用を表す。「-ている」の形でその動作が終わって「結果が残っている」ことを表す。

(金田一春彦の分類による)

◆クリエイティブ・コモンズ・ライセンスによる公開について

この教材は「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス」(<https://creativecommons.jp/>)に従って以下のように公開しています。

表示-非営利-継承



「原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。」

著作権

筆者の木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋が保持します。

使用許諾

個人の学習や授業での利用の場合は、自由にお使いください。使用する時は出典の明記をお願いします。また、改変や再配布するときも、出典を明示してください。

出典:「留学生のための日本語作文ガイドブック」木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋、2022年
<https://nihongosakubun.jimdofree.com/>

営利目的では使用しないでください。その他、使用について質問があれば【連絡先】にお問い合わせください。